

# News

特定非営利活動法人  
都市生活コミュニティセンター  
〒663-8231 西宮市津門西口町7-3  
TEL0798-36-6679 FAX0798-36-5114

## 「NEET」

元理事●松井一郎（松井一郎事務所）

最近流行の言葉に「NEET」がある。Not in Education, Employment or Training つまり「学校にも行かず、働いてもないし、職業訓練にも参加していない若者」で、フリーター未満の人達とされている。現在60万人を超えて急増中。政府も来年度予算で100億円をかけて対策に乗り出すという。「若者自立塾」をつくって本人の「働く意欲の涵養」を行う。

しかしいつの時代にも「無為徒食の人」はいた。だから問題はその「無為徒食の人」が増えることだろうが、雇用情勢が悪化すれば求職活動からも降りてしまう人が出てくるのは当然のこと。問題の根本を解決しようとするならば本人の問題というよりも雇用を増やすことが正解のはずで、わざわざ「NEET対策」に予算を投じるよりも雇用対策にその分をまわすべきだろう。

もちろん「本人の問題」はなお残るがそれは自分をどう位置づけるか、だろう。かつては求職活動からのリタイアは女性からおこった。その場合は「家事手伝い」と自称したし、今もし

ている。しかし今は「女性からまずリタイア」ということではなくなっており、男性であっても求職をあきらめる状況にあるが、男性の場合には「家事手伝い」とはよう言わない（言えない）段階にある。

そこで方策の第1は男女共同参画を徹底して男性であっても「家事手伝い」と堂々と言える状況をつくることであり、方策の第2は別に「家事」に限る必要はないのだから例えば「ボランティアてつだい」という概念の社会的存在を新たにつくり出すことだろう。

「社会的存在をつくり出す」というと手が届かない感じになるが、まずは足下からはじめることは可能だろう。かつて河合塾には同塾のカリスマ講師だったM氏が創設したベーシックコースというものがあった。「河合のベーシック」とは1面「おちこぼれ」の代名詞なのだが、もう1面すでにただの「おちこぼれ」でない存在を生み出した。例えば「TCCボランティアてつだい」というただの「NEET」でない存在が生まれてもいいのではないか。

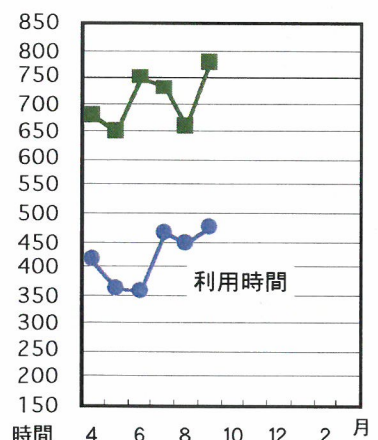
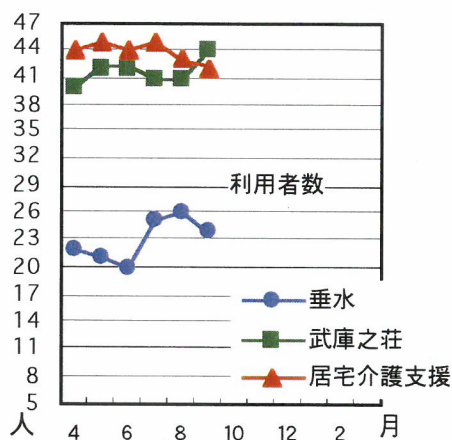


## 2004 年度☆介護保険事業報告

### ★あ・し・す・と（垂水）

### ★あしすと武庫之荘（尼崎）

- 現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。
- 武庫之荘では居宅介護支援事業（ケアプラン）も行っています。



## 行って来ました。見て来ました。

### ～スウェーデン訪問記～

志村雅子（ミュージックセラピーグループハーモニー運営委員・音楽療法士・写真右）

この夏8月23日から9日間、ひょうご障害福祉事業協会の企画による「スウェーデンの音楽療法と福祉を学ぶ旅」に参加しました。スウェーデンはスカンジナビア半島の東側を占める北欧最大の国で、日本より少し広い45万㎡の面積を持ち、人口は約900万人の王国です。首都ストックホルムに次ぐ第2の都市、ヨーテボリ市に滞在して、学校やグループホーム、障害者のためのデイセンター等を見学しました。ヨーテボリは運河と堀を持つ自然豊かな街で、18世紀の石造りの建物がそのまま保存されて、現在も使われています。壊して新しく建て直すより、費用がかかるそうですが、美しい街並みを残すために修理や内部の改装をして、市民は住んでいます。

スウェーデンでは、かつて障害を持つ子どもは養護学校に通い、障害者や高齢者のためにどんどん施設が作られました。その後、ノーマライゼーションの実現にむけて施設は全て無くなり、家庭やグループホームなどにおける個人のサポート体制が出来ました。障害児教育も普通学校の中での統合教育に変わりました。特別なニーズが必要な人(子ども)に対して、そのニーズに合った援助を提供していく事で地域にとけ込んだ生活が出来るようになっていきます。そういった手厚い福祉を実現するために、税金は収入の1/3で、消費税も約25%です。ただし、大学まで学費はほとんど無料、老後の心配もないのであれば、案外、気楽なのかも知れません。



### ～オイエルシェ統合学校での音楽の授業風景から～

梶田美奈子（ミュージックセラピーグループハーモニー代表・音楽療法士・写真左）

『ラムセバンド』は知的障害を持つ子ども達9名のバイオリンバンドで、これまでに2度来日し



コンサートも開いていますので彼らの演奏をお聴きになった方もあると思います。スズキメソッドを軸に初めてバイオリンを習う子どもから経験豊かな子どもまでが一緒にアンサンブルを楽しみます。バイオリンの指導、音楽アレンジは2名の音楽教師が担当し、子どもの能力にあわせた色分けされたオリジナルの楽譜を使います。その他に指揮をする先生、子どもを励ましたりケアを行う先生が3名音楽教師と養護学校の教師がチームを組んで取り組んでいます。ラムセの活動を通して子ども達は、みんなお互いが持っているのは音楽の喜び。そして“私たちは、何かをできるんだ”という可能性を見つけていくように感じました。

あるメンバーは、自閉症を克服し将来はコックさんになるという目的をしっかりとっていました。そこには新しい音楽療法「コミュニティ音楽療法」の原型を見たように思いました。

## フリーマーケットわくわく (^\_^)

### 今後の予定

- 11月11日（木）申込締切11/4
- 12月9日（木）申込締切12/2
- 2005年2月10日（木）申込締切2/3
- 2005年3月10日（木）申込締切3/3
- ◇12月手作りクリスマスグッズ等
- ◇2.3月は入学準備袋物等

10月9日（土）のろっこう医療生協「1万人の健康フェスタ」in〈フリーマーケットわくわく〉は台風22号のため屋外のイベントは中止となりました。それでも午前中は室内でのギターのエレキがたり・ビンゴゲームで盛り上がり、午後はアグネス・チャンの日本ユニセフ協会大使としての現地の実状のお話で会場のほとんどの人が涙しながら平和の大切さを痛感することができた意義ある講演でした。

岡部真紀子（ボランティアグループすまいる代表）

## ～インフォメーション～

- 講演会 第2回引きこもりは病気ではない 11月6日（土）13：30～16：30  
講師：西嶋彰氏（NPO法人ニュースタート事務局関西代表） 会場：県民会館
- スキルアップ講座 マネージメント研修 12月4日（土）10：00～16：00  
講師：黒田裕子氏（日本ホスピス・在宅ケア研究会副理事長） 会場：神戸市勤労会館